

Sunshine

Letter

内容解説資料

令和6年度
小学校英語教科書

新しい Junior Sunshine が 完成しました！

特集

著者が語る、令和6年度版 Junior Sunshine の魅力

萬谷 隆一 2
北海道教育大学特任教授

大城 賢 4
琉球大学名誉教授

粕谷 恭子 5
東京学芸大学教授

池田 周 6
愛知県立大学教授

佐藤 美智子 7
鳴門教育大学大学院特命准教授

正頭 英和 8
立命館小学校教諭

宗 誠 9
中村学園大学講師

星野 由子 10
千葉大学准教授

表紙に込めた願い 11



著者が語る、令和6年度版 *Junior Sunshine*の魅力

先行きが不透明で、将来の予測が難しい時代。

子どもたちが豊かに、自分らしく幸せに生きるために、

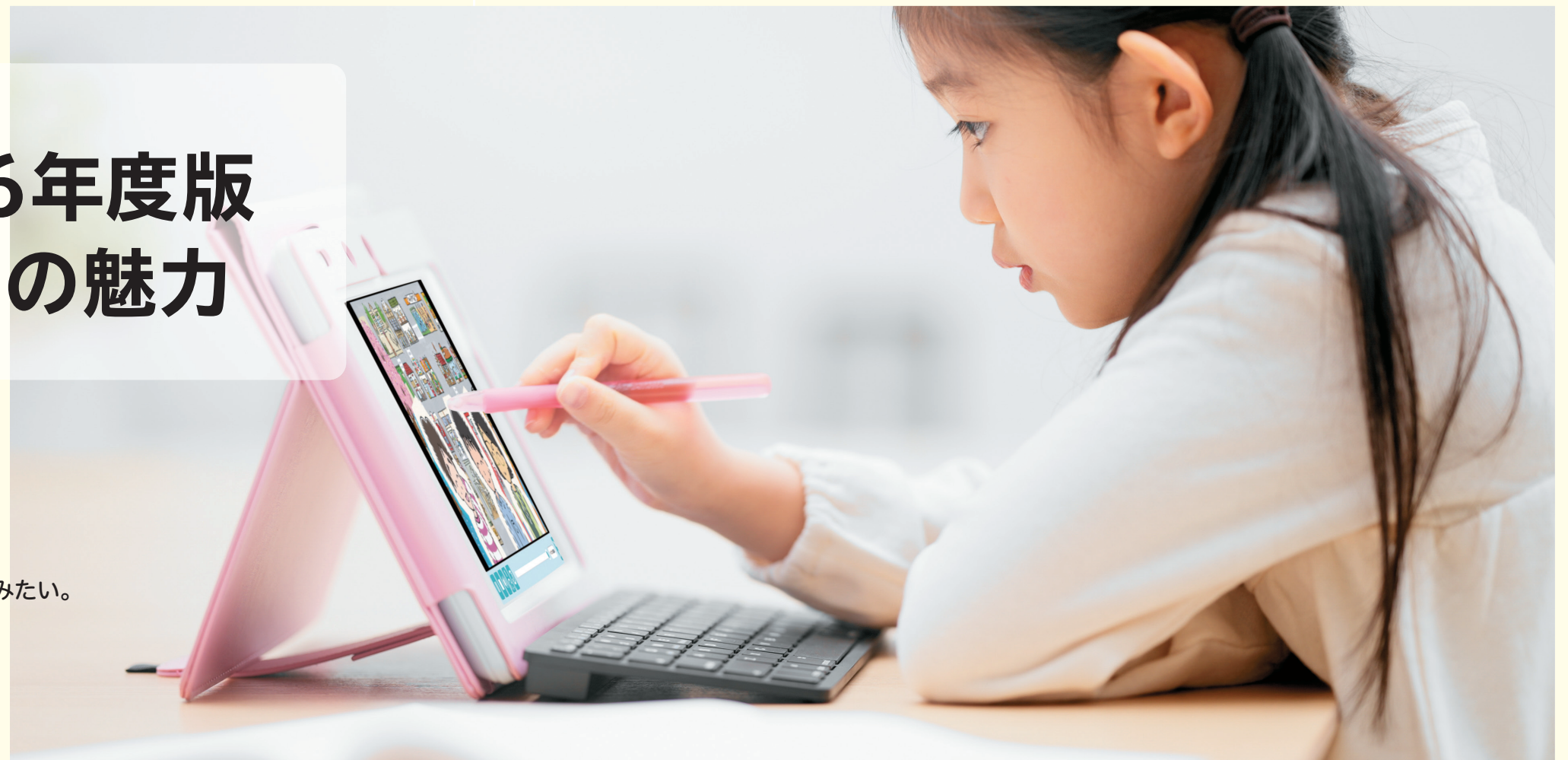
自分の考えをもって、それを他者に伝える力や、

文化や考え方が異なる人々と心を通わせ、協調する力を育みたい。

そんな願いを込めた令和6年度版教科書が完成しました。

今号では、その新しい教科書の魅力やこだわりを

8名の著者の先生方に聞きました。



aijiro/Shutterstock.com

1

子どもたちの可能性を広げる、 新しい*Junior Sunshine*

萬谷 隆一

北海道教育大学特任教授



いよいよ新しい*Junior Sunshine*が出来上がりました。

この教科書には、以下の3つの特長があります。第1に、「言語活動」を促進する工夫を随所に込めました。考えや気持ちを英語とことばに乗せ、伝え合う喜びを味わってほしいという願いを込めました。*Junior Sunshine*では、

意味のやり取りを具体的な場面でたくさん体験してもらいたいと考えています。

第2に、「聞く話す」ことから「読む書く」ことへの流れを大切にしました。*Junior Sunshine*では、音声での経験を豊かにしたうえで、音を文字媒体にしていねいに移行させる配慮をしました。

第3に、「学びが見える構成」を意識した教科書をめざしました。どの先生、児童にも、年間、単元、授業の構成が見通せるようにしました。指導面だけでなく、評価の視点でも計画的に評価場面や学びを振り返る機会を組み込みました。

これからの子どもたちは、国と

国、文化と文化、人と人^{かつた}の間にある壁を越えて、世界と^{かつた}関連にやり取りしてゆく力が必要です。そのために外国語の力は、子どもたちの可能性を拡げる鍵となります。ぜひ*Junior Sunshine*を通して、英語を自分のものにし、未来への鍵を手にしてほしいと思います。



2

英語を使いながら学び、
学びながら使う教科書

大城 賢

琉球大学名誉教授



私が30年以上前に読んだ本の中に、“Skill-getting and skill-using continue to proceed hand in hand…”*という一節がありました。当時は、「説明や練習をして最後に使わせる」という指導順序が一般的であり、その一節に衝撃を受けました。令和6年度版 *Junior Sunshine* では、「使いながら学ぶ、学びながら使う」という指導法を取り入れており、30年以上前に読んだ本の衝撃が蘇ってきました。感無量です。

また、私がもう一つ大切にしたいことは「主体的に学習に取り組む態度の育成」です。残念ながら、これまでの学習指導要領では、学習者の自律を促す「学び方」についてはほとんど言及されていませんでした。しかし、外国語の習得には、自己調整を図りながら自らの「学び方」を身につけ、生涯にわたって学び続ける方法や態度を身につけることが大切です。令和6年度版 *Junior Sunshine* では、「主体的に学習に取り組む態度の育成」を促すさまざまな工夫を取り入れることができました。これが児童の外国語の習得に大きく貢献するものになると確信しています。

[5年] Lesson 5 第1時

POINT

すべての単元で第1時から言語活動を通して資質・能力を育てる構成です。

第2時

第3時

第4時

第5時

第7・8時

第6時

3

子どもにも先生にも
使いやすい教科書をめざして

粕谷 恭子

東京学芸大学教授



英語の教科書は、子どもたちの2つ目のことばの学びを支えるものであってほしい、子どもだけでなく先生方にも使いやすいものであってほしい、そんな思いで教科書作りに関わりました。

子どもの学びを支えるためには、意味と音の関係を類推しやす

く、音から文字へ広がる道が平坦で歩きやすいものであってほしい。

先生方にとって使いやすいものにするためには、教室での豊かな言語活動がしやすいよう、ゆったりした自由度の高い教科書であってほしい。教科書には限界があつて、一つひとつの学級に「ハマる」

言語活動を提供することは今の技術では難しいものです。先生方がデザインする言語活動と教科書が力を合わせて、子どもたちと英語のよい出会いを実現できたら素晴らしいことです。教科書に使われることなく、上手に教科書を使っていただけをお願いしています。

Let's Play 5 しせつや建物、そこでできることなどに慣れるために、“Where am I?”クイズをしましょう。

Activity 2 グループで、お気に入りの場所まで案内してもらったり、友だちを案内したりしましょう。

Where is your favorite place?

Turn left. Go straight.

Let's say it.

Sorry?

Let's Listen and Read 2 ペンがマイタウンのお気に入りのしせつを言います。音声聞きながら、文を指で追いましょ。

My favorite place is the library.

My favorite place is the station.

Let's Write 2 自分の町のお気に入りの場所を書きましょう。

My favorite place is the _____.

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz → p.117 sixty-five 65

POINT

音声で十分に慣れ親しんでから、文字を導入しています。

* Rivers and Temperley (1978) *A Practical Guide to the Teaching of English as a Second or Foreign Language*, Oxford University Press

4

「音から文字へ」の流れを大切に

池田 周

愛知県立大学教授



「読むこと」と「書くこと」の指導で大切なのは、語句や表現に音声で十分に慣れ親しんだ状態で、それらを表す文字を導入していくことです。*Junior Sunshine*ではこの流れを大切に、言語活動をていねいに構成しています。

アルファベットの名称を言った

り書いたりする活動は、音声を何度も聞きながら文字を見たり書いたりすることを繰り返し、文字の形や4線上の位置の違いへの気づきを重ねて定着をめざします。また、「読むこと」の領域では、個々のアルファベットの文字や語の綴りが、それらの音声を表す記号で

あることに児童が気づけるように支援する仕掛けを組み込んでいます。これも焦ることなく、何度も音を聞き、語のはじめの音に気づいてから、それらが特定の文字で表されることを示して整理していく形を徹底しています。さらに「書くこと」の領域で語句や表現を書き写す活動においても、児童が音声から意味がわかるものを扱います。そのため写し終えた直後に、それを見ながら音読することも可能となり、児童の達成感を高められるようになっています。

文字を使って伝え合う楽しさも、これからの英語学習を通して児童に体験してほしいと願っています。

[5年] Letter Box (p.68)

Letter Box ▶ アルファベットの小文字に親しもう

アルファベットの小文字を、形の持ちようを確かめながら丁寧に書きましょう。

- 1 大文字と形が似ているもの
c o s v w x z
- 2 第1線から基線までの高さがあるもの
b d f h k l
- 3 第4線まで下がるもの
g j p q y
- 4 第2線と基線までの高さで、大文字と形が似ていないもの
a e i m n t u

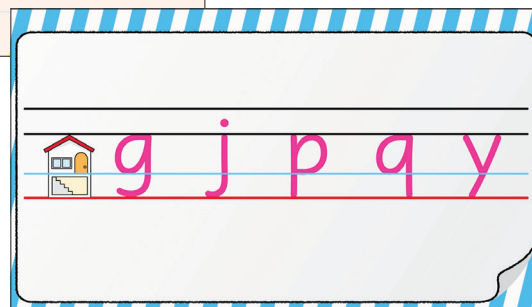
文字の高さに気をつけよう。
1階建て 2階建て
地下1階建て
g

CAN-DOチェック 単元の学習をふり返りましょう。→ p.128

68 sixty-eight

POINT

5年の各単元に設置されているSound Box、Sounds and Lettersでは、教科書紙面とアニメーションで、アルファベットの学習を手軽に行えます。



5

学びに向かう力が育つ
笑顔あふれる授業を

佐藤 美智子

鳴門教育大学大学院
特命准教授

学習指導要領全面実施から3年間の実践を経て、使いやすくわくわく感満載、豊かで確かな学びが生まれる、新しい*Junior Sunshine*が完成しました！

子どもたちの目は輝くかな、「もっと聞きたい」「もっと話したい」と心が動くかな……。子どもたちの姿に思いを馳せ、授業場면을想像しながらこの教科書を作りました。考えや気持ちを「ことば」に乗せて伝え合い、他者と関わる

喜びを実感したり、自他を尊重することの大切さに気づいたりしながら、英語の力だけでなく、心が育ち子どもたちの世界が広がる教科書にとの願いも込めました。

また、授業を創る指導者の視点も大切にしています。先生方にとって使いやすく、求める資質・能力が育つ教科書づくりを意識しました。「評価」がその一つです。単元の目標や評価規準に沿って、紙面には領域と観点を明記した評

価場面を設け、学習指導案には、評価基準とともに具体的なパフォーマンス例も示しました。子どもたちが学びを振り返り、成長を実感したり自己調整したりして次の学びへ向かう機会となる年間3回のLet's Checkも、参考にさせていただけるのではないかと考えます。

全国の小学校で、笑顔あふれる授業が展開されることを心から願っています。

マイタウンのお気に入りの場所について、くわしく伝え合おう。



Let's Listen 4

美冬が作ったマイタウンです。お気に入りの場所は、
ア～エのどれでしょうか。記号に○をつけ、
選んだ理由を書きましょう。 聞き(思)慮 Mifuyu

評価場面を明記しているので指導の見通しが立てやすいね。



POINT

Let's Checkでは、学習した英語が身についたか、英語で何ができるようになったかをペーパーテストとパフォーマンステストの両面で確かめることができます。

Let's Check 1

Questions

5年2組の仲間たち

イギリスからの転入生のエミリーをむかえ、5年2組の新年度が始まりました。外国語の授業では、担任の川谷先生、ALTのミナ先生といっしょに勉強しています。

1 エミリーを助けよう。

学校に連絡帳をわすれてしまったエミリーさんは、新さんに電話をかけて水曜日の時間割をたずねています。明日、学校に持っていく教科書は全部で5冊です。残りの2冊の教科書を1～4の中から選んで、()に○をつけましょう。※5

水曜日	1 算数	2 音楽	3 英語	4 理科
Emily	()	()	()	()
Arata	()	()	()	()

2 優さんのことを知ろう。

外国語の授業で、優さんが未来さんに自己紹介をしています。2人の会話を聞いて、次の質問に答えましょう。

1 優さんの誕生日は、何月何日でしょうか。下の1～4の中から1つ選んで、()に○をつけましょう。※5

1. 8月4日	2. 4月20日
()	()
3. 3月11日	4. 11月7日
()	()

3 未来さんのことも知ろう。

今度は、未来さんが自分のことを伝えるために作ったカードを見せながら優さんに自己紹介をしています。未来さんのカードはどれでしょうか。1～4から最も合うものを1つ選び、()に○をつけましょう。※5

1.	2.
()	()
3.	4.
()	()

44 forty-four Suguru Miku

45 forty-five

6

英語に親しみをもてる
イラスト、ストーリー性

正頭 英和

立命館小学校教諭



Junior Sunshineの特長として、わかりやすいイラストが豊富に使用されており、子どもたちが英語の語句や表現を理解するのを手助けしています。また、楽しいストーリーや歌、チャンツなどが盛り込まれており、子どもたちが自然な形で英語に親しむことができるように配慮しました。もちろん、単なる単語や文法の暗記ではなく、対話や協働を重ねる経験を通じて、英語を自然なこととして身につけることを目的としてい

ます。子どもたちが興味をもちながら学習に取り組んでくれるよう、親しみやすい場面設定にしています。各単元で単語や表現に繰り返し触れることで、教室の中で自然にたくさんのコミュニケーション活動に取り組めるのではないかと考えています。

小学生も高学年になってくると、コミュニケーションを取ることと苦手意識を感じたり、恥ずかしがったりする子も出てくると思います。しかし、教室の中で過

す時間は子どもたちにとってかけがえのないものです。できれば、英語で自分の気持ちを表現できたらいいなと思っている先生も多いのではないのでしょうか。この教科書がその一助になれば、これほどうれしいことはありません。

POINT

学習への興味・関心を高められるよう、イラストや写真を大きく配置しました。



2年間を通して、同世代の子どもたちを主人公にした物語を展開。身近なストーリーで共感を呼びます。QRコンテンツとしてアニメーションを用意しています。

7

コミュニケーションを
意味あるものにするために

宗 誠

中村学園大学
講師

外国語科の授業を生きたものにするためのポイントは、「言語活動を通して」指導をすることです。第1時から単語や表現の練習を繰り返し行い、単元の終末にそれらを使ったメインの言語活動をどんと設定するというのではなく、単元の導入から「コミュニケーションの目的や場面、状況」を設定し、子どもたちが生きたやり取りをしながら知らず知らずのうちに身につけていくような工夫が必要になってきます。新しいJunior Sunshineには、そのような「使いな

がら学ぶ」という工夫がちりばめられています。「言語活動を通して」授業を進めるために、教科書の登場人物のやり取りにストーリー性をもたせ、彼らの日常生活を楽しみながら聞いたり、それをもとに自分のことを話したりするような展開ができる工夫をしました。

また、異文化を知るだけでなく、異文化を尊重したり、異文化を通して自国の文化を再認識したりするような題材を盛り込みました。QRコンテンツも豊富に用意されているので、子どもたちは目を輝

かせながら映像に見入ることでしょう。

中学年で慣れ親しんだ英語をさらに自分のものにし、意味のあるコミュニケーションをするためにまさにぴったりの教科書と言えます。

POINT

随所で外国の生活や文化に触れることができるようにしました。このほかにも、年3回のOur World、6年Story Timeでも異文化を扱っています。



▲ Around the World

単元末に、学習テーマに合わせて外国の文化や生活を紹介するコーナーを新設しました。

表現に繰り返し出会い 身につけられる教科書に

星野 由子

千葉大学准教授



Junior Sunshineを作成するうえで心がけたことは、児童が表現に繰り返し出会う機会をなるべく多くする、ということです。週に2回英語の授業があると言っても、週末を挟んだり、祝日のために英語の授業がある曜日がなくなってしまったりと、本時と次の授業の間が空いてしまうことがよくあります。小学生は英語の多くを耳からインプットするので、教科書を見返して習った表現を思い出すことは困難です。また、小学

4線上に配置した語句をイラストに添えました。語句や表現を書き写すときの手本にすることができます。



POINT

授業では、子どもたちは言語活動を通して繰り返し表現に出会います。その活動を別冊絵辞典 Word Bookがサポートします。

▼ QRコンテンツ

QRコンテンツで、一つひとつの語句の音声を確認できます。



自分で単語を書き足そう。



Junior Sunshine 5・6 表紙に込めた願い

- ▶ 新しい世界に進んで飛び出し、友だちと楽しく助け合い、学び合うことができるように。
- ▶ 多様な価値観に触れ、自他を大切にできる心が育つように。
- ▶ 考えや気持ちをことばに乗せて伝え合う力が育つように。

Junior Sunshineで英語を学ぶ子どもたちへの願いを、2枚のイラストに込めました。

5年テーマ

旅立ち

Junior Sunshineの主な登場人物であるベンや春陽、夏輝たちが、まだ見ぬ広い世界へ旅立ちます。これからどんなに出会うのかと心を躍らせている登場人物たちの表情や、遠くに浮かぶ街並みなどで、英語ということばを学ぶことを通して多様な価値観に触れ、視野を広げていくことや、友だちと切磋琢磨しながら学習を進めてほしいという願いを込めています。



6年テーマ

冒険

春陽たちは、たどり着いた場所で、アメリカ合衆国に住むベンの友だち、ソフィアやベンと合流。みんなでいっしょにその土地の自然や文化などに触れ、見聞を広げています。英語を通して国境を越えて新しい友だちをつくったり、多様な価値観を知り、自他を尊重して他者と豊かに関わり合う力を育んだりしてほしいという願いをイラストに込めています。

表紙イラスト みずす

児童書や一般書、音楽ディスクジャケットなど、幅広いジャンルで活躍している人気のイラストレーターです。



学びを豊かにするデジタル教科書

学校現場の先生方の声に応え、軽快に動作し、操作しやすく、さまざまなブラウザに対応できるビューアを採用。動画や音声などの豊富なデジタルコンテンツで、指導をサポートします。

▶ 指導者用デジタル教科書(教材) 教科書を使った指導をより充実させるツールや資料が満載です。

- 字幕付き動画
- カラオケ音声
- フラッシュカード機能 など

プラン

「プラン」をタップすれば、各時間の指導の流れをチェックできます。

Lesson 5

第1学期教科書pp.60-61指導要領pp.5-7

項目	時間
導入	5分
英語を聞く	5分
英語を話す	5分
英語の読み取り	5分
英語の書き取り	5分
英語の表現力向上	5分
英語の表現力向上	5分
英語の表現力向上	5分

Song Box & Chant Box

Song Box

英語らしいリズムと音を、歌とアニメーションで学べます。

Chant Box

ターゲット表現をリズムに乗せて、練習できます。

Sounds & Letters

文字学習は、各単元2～5回の常活動でじっくりていねいに。アニメーションを用意しました。

Word Book

カテゴリ名をタップすると、別冊Word Bookに掲載されている語句とその音声を確かめられます。

▶ 学習者用デジタル教科書+教材

「誰一人取り残すことのない学び」の実現のため、さまざまな機能をそろえました。読み上げ機能は日本語も英語もネイティブ・スピーカーの音声を収録しています。

- 紙面の拡大表示(ズーム機能)
- 書き込み機能(ペン、スタンプ)
- 文字や背景の色の変更
- 振りがな(ルビ)の表示
- ふせん機能
- リンク機能
- 本文の読み上げ機能
- 文字サイズの変更(リフロー機能)

※制作中のため、内容や企画が変更になる場合があります。

Welcome!



令和6年度 Junior Sunshine特設サイト OPEN

改訂のポイントのほか、年間指導計画案や単元計画例のサンプルなどの情報を随時アップロードします。



小学校英語情報誌

Junior Sunshine Letter Vol.3

非売品



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111

2023年5月2日印刷 2023年5月12日発行 編集兼発行人 岩塚太郎

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎ (03) 5684-6121 (営業)、5684-6118 (販売)、5684-6115 (編集) <https://www.kairyudo.co.jp/>

北海道支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階 ☎ 011-231-0403
東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階 ☎ 022-742-1213
名古屋支社 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-15-18 オフィスサンゴヤ9階 ☎ 052-908-5190
大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06-6531-5782
九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎ 092-733-0174